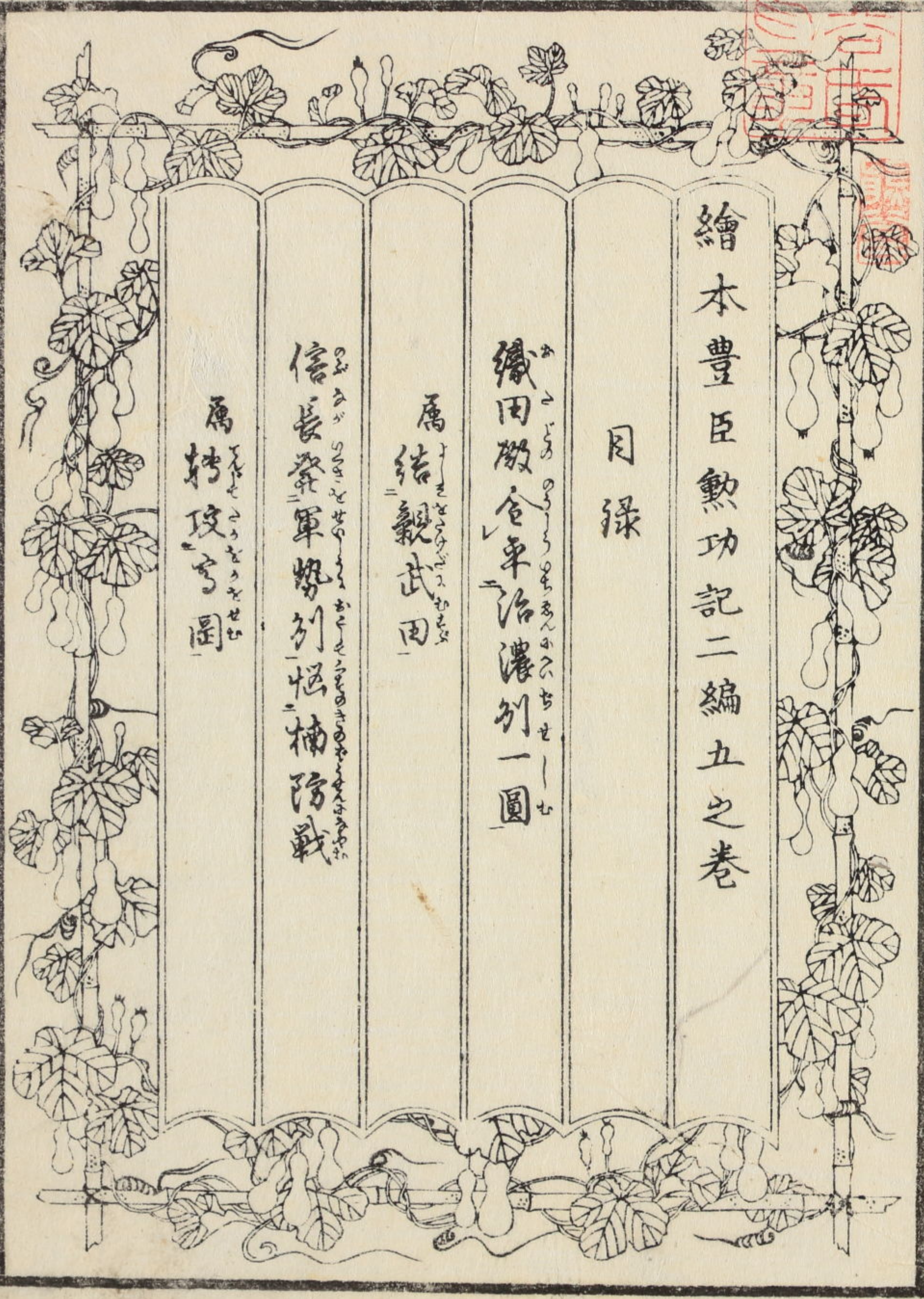
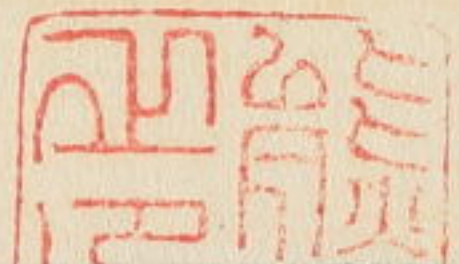


繪本豐臣勲功記

二編

五

4 5 6 7 8 9 170 1 2 3 4 5 6 7 8 9 180 1 2 3 4 5 6 7 8



繪本豊臣勲功記二編五之卷

目錄

織田おだ破やぶ合あ平へい治ち濃のう列り一いつ圓げん

屬しよ結むす親おや武ぶ田でん

信のぶ長なが登のぼ軍ぐん勢せい列り根ね楠くすのぎ防ぼう防ぼう戰せん

屬しよ轉まわ攻こう守しゆ圖ず

三冊

秀吉識山崎信隆楠謀言

屬信長陣

丹羽林依感藤吉舟大量

屬結縁六角



會本豊臣勲功記一編卷之五



江戸 八功舎 徳水刑補

徳田敏令平治藩別一圓

屬結親武田

天應小雨降らんと欲する時を地まづ濡ふべく風吹らんと欲する時を雨の系物まづ乾く
秋篠前右の稲葉山傾らんとする報福の先達るふしとゆふも能與怡も頑愚小
して知らぬ勢とぞ成果るは是能もなれ事あらむ也然るどに本下藤吉舟秀吉を志
が本陣へ乘備し徳田敏の清前へ出らる小信長殊小河の氣色よく味く本下の来り
まし日東を志く諸軍勢の攻臣なる當城を令曉一時も逆ぬ隙小自營を一個
換せどとて二の九捕せし系前へ偏小足下が智謀ありとて雀躍するまも小悦びふふ
本下洋渡り言状をらる全く君の清運小頼まらるまも小信長功ありらんやとまも小屬を
重上り小詞找あり敵本丸小運入て必死の威勢せらるまも是れ攻め城を志る



牢城終小
窮て
龍興主從
稻葉山を
退散せ

不さ小さんん然ぜんやど小さ稲いな葉は山さん落らく城じやうせく小さ濃のう列りやう一いち秀しゆ織お田た家け小さ属ぞく。國くに人ひと奇き
 しく出い仕しく尾び濃のう靜せい濠ごうけく。小さ信のぶ長なが来き東とう望ぼうところの。本ほん意い一時いちじ小さ達たつ
 ころを。神かみ心こころを傾かたむけく。まをを悦よろこび某そのの功こうより。て恩おん賞しょうこまある。そが申まう小さ
 も。本ほん中ちゆう秀しゆ吉きちが功こう勞らうの業わざふる。小さる。せ。と。て。濃のう列りやう之の郡ぐんの地ちを賜たまひ。申まう別べつ後ごの城じやうを
 いらむ。此この之の移うつり安やす八はち備びま。遠とほ道みち稻いな葉は山さんを。ま。而しかも。响こたへ酒しゆ軌ぎの鳴なり号ごうせり。之の易やすく。と
 二ふたの九く八はち人にん數かずを。む。此この家け。公こう士しと。も。換かげ。せ。し。て。事こと。落らくり。し。右みぎ今いまの。勇ゆう智ち目めの。軍ぐんの。吉きち
 例れいあり。此この後ご。之の後ご。之の預よめ。り。つ。く。そ。方かたが。門かど。標ひら小さ用ようひ。と。て。こ。を。許ゆるされ。ら。む。ひ。く。く。
 本ほん中ちゆう面めん目めの。身み。小さ余あの。恩おんを。謝あやす。て。退ひき出だす。か。ら。心こころの。申まう小さお。り。の。ま。る。る。や。う。遠とほ軌ぎ
 を。馬うま發はつと。あ。し。軍ぐん中ちゆうの。功こう。あ。る。毎ま。小さ。小さ。一いち枝えだ。ぐ。坊ぼく如に。お。お。と。思おもは。ま。さ。る。が。果は果はして
 他た事こと。數かず。と。て。予よ。は。飄ひらと。ふ。つ。ろ。ろ。と。最も。小さ。仁に。王わうの。城じやう。尾び。濃のう。後ご。助すけの。慮りょ。ら。を。も。十じゆ日にち。余あり
 本ほん中ちゆう。陣じん。小さ。遠とほ。苗なへ。く。ろ。ろ。と。稻いな。葉は。山さんの。城じやう。際さへ。の。も。帰かへ。ら。る。と。謝あや。す。ら。る。と。秀しゆ。吉きち

さ。也なり。小さ。苗なへ。え。く。公こう。茂しげ。助すけ。點てん。止と。小さ。御ご。を。て。織お。田た。敏み。小さ。は。一いち。ん。緯ゐ。ハ。亡な。又また。の。遺い。言げん。小さ。背せい。く
 あり。小さ。懐わい。疑ぎ。疑ぎ。が。こ。も。も。當あた。遠とほ。日にち。来き。朝あ。暮ぼ。小さ。本ほん。中ちゆう。大だい。人にんの。懇こん。切せつ。を。疑ぎ。む。こ。も。小さ。懐わい
 念ねん。忘わす。れ。と。て。惟ただ。一いち。遠とほ。信しん。仕し。候こう。つ。ろ。ろ。と。忠ちゆう。義ぎ。を。竭つ。し。り。ん。小さ。と。思おも。投な。て。重おも。さ。を
 小さ。周しゆう。秀しゆ。吉きち。茂しげ。助すけ。が。義ぎ。氣き。を。感かん。ず。我われ。名な。の。一いち。字じ。を。分わ。曉あや。つ。く。吉きち。吉きち。と。号なづ。け。ら。る。と。公こう。茂しげ。助すけ
 小さ。お。ひ。小さ。護ご。原げん。を。一いち。朝あ。夕せき。を。三さん。小さ。仕し。下げ。り。此この。人ひと。後ご。中ちゆう。の。後ご。九く。後ご。一いち。第だい。刀たう。先せん。中ちゆう。一いち。科か。一いち。部ぶ。を。十じゆ。石せき。と。り
 一いち。圓えん。一いち。日にち。を。織お。田た。敏み。小さ。給たま。ふ。山さん。小さ。投な。せ。ら。る。と。遠とほ。山さんの。地ち。形かたち。を。巡めぐ。覽らん。せ。ら。る。と。た。く。を。當あた。り。す。
 小さ。お。ひ。清せい。例れい。を。此この。小さ。移うつ。さ。る。と。思おも。ひ。起た。せ。ま。ひ。つ。ろ。ろ。と。今いま。ま。で。我われ。務む。務む。の。結むす。締め。お。た。る。門かど。塚づか
 久く。倉くら。を。播は。野の。回わい。迎よう。る。陰いん。溝みぞ。を。穿あ。掘ほ。け。新あら。小さ。城じやう。を。築た。ん。と。こ。を。許ゆる。け。ら。る。と。玉たま。ひ。ろ。小さ。高たか。田た
 小さ。ら。ぬ。尾び。濃のう。濠ごう。西せい。國こく。の。守まも。護ご。職しやく。の。居い。居い。城じやう。を。ま。ひ。識し。小さ。空くう。見み。の。經きやう。營えい。を。ら。ぬ。と。禎あや。く。本ほん。中ちゆう。生せい
 兼かね。より。遠とほ。源げん。量りやう。あ。る。と。り。て。最も。極ごく。極ごく。の。真ま。事こと。を。語かた。す。一いち。枝えだ。一いち。本ほん。と。り。り。頁えき。を。積つ。せ。り。五ご。年ねん
 已い。來き。時とき。い。ま。ま。の。つ。ろ。ろ。數かず。千せん。本ほん。は。買か。ひ。小さ。脱だつ。づ。り。場ば。く。を。り。の。ま。と。良よ。材ざい。を。ま。ひ。遠とほ。道みち。大だい。事じ。の。城じやう



秀吉堀尾
 茂助を帰
 服して君臣
 盟と結ぶ



権山にて豊臣の或と會ふとせり。西宮再び権者となり。遂に武威を援助す。

信長發軍勢列松浦防戦。属將攻高岡。

大丈主の心決りて。猶も一々も。愛宕のこめ小宛。風箱小湯るがや。然る過日。徳田

武田。唯ならん。親とらる。皆洞の縁故あり。今も東小氣はひき。きとちり上。活

の計致せり。し未。發をやと。おや。ゆせ。も。遠。并。系。都。小。好。松。水。系。小。私。の。軍。し

て。發。動。軍。小。上。ら。た。く。且。亦。江。列。の。佐。多。木。家。小。内。分。の。辭。圖。ひ。ま。り。一。邊。高。小。路。次

塞り。往。來。殘。小。難。義。あり。と。ま。さ。う。小。將。軍。家。の。近。來。都。小。な。ま。ま。ね。徳。田。徹。上。流。の

お。お。し。も。ち。自。然。と。近。引。か。し。り。り。る。茲。亦。先。年。勢。別。の。駐。守。と。し。者。名。城。小。さ。し。希。也。

瀧。川。左。と。一。卷。解。り。使。者。を。奉。じて。き。り。や。り。一。卷。自。力。せ。烈。ま。し。鮮。に。者。名。の。支。城。を。有

固。め。て。權。者。も。小。伊。勢。あり。り。同。神。戶。浦。を。ご。の。侍。士。軍。武。勇。小。長。ト。智。略。小。秀。一。卷。一。卷

渠。倫。と。敵。と。之。債。採。め。ん。事。官。易。う。ら。む。然。る。に。君。兵。所。威。光。強。く。兵。糧。一。圓。を。破。り

と。あ。ひ。武。田。せ。り。之。縁。者。と。し。ま。ふ。こ。ま。依。の。よ。し。せ。所。傳。一。勢。別。侍。士。忽。小。恐。怖。を。懷。こ。る

お。お。の。招。き。り。小。使。節。を。送。り。者。名。城。へ。便。宜。を。討。め。降。参。せ。而。し。の。う。率。族。を。こ。ご。ぶ

多。く。見。え。り。惟。此。勢。威。を。緩。め。と。ま。ま。と。出。馬。ま。し。く。惟。ら。六。郡。を。攻。む。至。ん。事

業。の。殊。也。兼。ふ。小。部。と。し。所。心。算。く。も。ら。る。と。頻。に。注。伸。せ。所。め。大。小。勇。を。起。せ。れ

昂。時。小。陣。前。あり。り。と。本。下。籠。身。参。り。今。勢。別。所。費。向。事。所。延。延。去。り。と。き

う。こ。縁。故。別。儀。小。惟。ら。と。武。田。へ。替。ま。し。ま。せ。姫。君。遊。去。あり。り。と。の。後。回。も

を。く。惟。小。下。戈。を。動。し。至。ん。事。信。言。ゆ。と。思。ふ。ら。ん。と。所。思。意。あり。り。此。簿。を。と。り

と。頻。小。言。状。を。く。こ。も。徹。回。徹。こ。ま。と。用。ひ。と。ぬ。ま。と。時。ハ。得。か。く。失。ひ。見。易。し。自。女

が。牌。の。忘。種。小。も。疾。出。馬。と。勢。別。を。破。法。め。ん。と。思。ふ。あり。思。ふ。く。諫。言。を。と。り。と。て

同。年。八。月。廿。二。日。尾。瀨。の。軍。勢。一。万。余。騎。時。々。と。旭。と。こ。も。小。濃。列。は。身。を。奮

發。り。た。ま。ひ。勢。別。者。名。へ。赤。て。出。ら。る。瀧。川。以。次。ま。で。出。迎。へ。居。據。小。請。と。そ。ま。り



豊臣秀吉



楠正具謀計
 醜く山路
 彈正小
 謀合十

豊臣秀吉

答意の律からそらるる軍軌を禪ひ玉ひ直小寺宗近隣の敵地を
 不敵火したる自軍の威光を顕示さるれば小伊勢は城を小防戦の準備
 備せしは是小園の地より攻取らるる評決しる小當進より八
 田の城を素名郡攻むよし小事決まり二十餘騎を當的らる然る小城の大
 將の楠正成の後胤楠正高は正具とて之祖小寺らぬ名を將に守り
 然と固めり。正具平生小寺とよく練り合ひ其の像を擡る或駒の智を布し
 其威時の武勇を奮ふことども曾て功小務らむ我意よりて威を志せ
 さざ卓小楠廷尉は風動ありとて他會順傾くやと小外見の柔弱やられ
 とも教束堅固小守城せし小推進を攻むと些も喋りし後
 かく僅五百有余の軍勢大將正具が指揮の随う同手共是小播さらば建
 てる大勢ありとてども血氣小傷く隊伍も紊し卓推進急小防臨さんと講小進

投標小把巻の破らんとする所を正具よく沈視し暗号は一炮を多のや
 り多の面の寨樓より積蓄する大木を雷雨の像く小抛蕙を拒抗やと小
 透支やと進急忽ちこま小捷をぬるもの二百余人を扱て百の人員を給
 ち信をせよと所ゆき今又手下の合戦小自軍の益々多き美ひし
 こそ遺恨なきを義から小播をせし大軍をのりて踏記しおひひ知らせしこと
 騒叫り受小柴田池田坂井の意。五千余騎小馳散は小播小攻落え
 と喚叫り推進より徳と木下孫右衛門ハ信長の用意より留守の首尾總決所
 後より出陣せし由(漸く今日素名(暮)射を殿軍の事せし大木を擡りたるハ
 思ふ意なき多士軍行今更朽憾こそ小假甘も當城を正具と容易の敵とか
 かとつらむ小居采目小間者せり諸國(中)群小諸士別後賢愚を採る
 そまが守小も小具小守るもと名士あり力せりて攻むるも是事の作

一。目赤八田の城を攻陥し、其の餘の城は弱く、さうもあらぬが、八田城を
 堅守ありき。岡神戸の兩城を所攻め、是ぞ石を穿て水を引くが如し。
 と勅めし、丹羽長頼もこの邊議せしむ。俱ふる君を勅めし、信長もこまじ
 隨ひて、八田の邊を召込さんと使者を馳せしむ。然るに、柴田、池田、坂井
 の三將、五千余人をこし、隊を領ち八田の城へ進み、やむやむ、こ方より攻め、兵一掃
 と擡起き、城の中にも、膽氣なく、鳴を絶て、圍ふに、厥の城、こを、藩を度ぞ
 藩しく、及よと、擡揮し、初戦も、懲りて、謀小把を、奮りんとす。その、勇を、さうも
 細の、勇、細く、未だ、石炮を、擡動し、お、鬼、抽け、踏み、やど、お、下、河の、柴田、も、せ、れ、倦
 呼、口、情、あ、と、驚、が、と、せ、し、城、を、睨、ま、ま、う、ら、る。信、長、亦、使、者、馳、集、り、君、の、命、を
 傳、へ、し、く、憚、念、あ、ら、も、軍、を、止、せ、し、勢、を、纏、め、て、退、却、と、し、八、田、の、堅、守、小、の、
 福、富、平、た、建、つ、此人の信長勅當せり、是れ、秀吉、河原、小、
功、を、ま、ま、を、懸、く、故、老、を、給、ひ、と、り、 采、中、堅、物、あ、る、小、の、千、余、騎、せ、し、

濡て、城より、東、小、隊、伍、を、ま、ま、を、織、田、殿、より、諸、軍、を、率、ひ、て、岡、の、城、を、攻、め、
 と、六、里、七、町、の、行、程、を、一、時、半、お、う、せ、し、り、并、も、岡、の、城、と、い、は、れ、西、郡、を、
 川の、南、小、あり、神、戸、と、東、西、小、あり、つ、ら、き、城、主、の、神、戸、兵、人、具、盛、の、二、族、山、路、深、心
 信、盛、あり、千、余、人、少、く、擡、籠、り、信、盛、原、より、武、勇、烈、く、軍、配、も、又、功、者、あ、ら、ま、を、
 お、も、屋、を、さ、る、色、を、見、せ、し、と、虎、口、と、持、固、め、信、長、方、使、者、を、待、信、り、信、長、お、
 小、織、田、信、長、一、軍、百、余、の、勢、せ、し、り、城、を、近、く、推、進、し、魁、軍、の、昨、天、小、の、代、
 り、と、森、と、た、建、つ、丹、羽、五、千、騎、を、小、の、千、余、騎、を、與、へ、し、軍、料、を、つ、ら、く、進、め、し、り、
 と、り、
 ち、
 好、む、と、あ、り、し、と、教、う、け、し、と、途、と、防、戦、を、城、を、強、く、と、し、り、小、要、堅、固、に、
 山、城、を、ま、ま、進、め、し、り、と、進、む、小、道、を、さ、ら、り、信、長、又、お、怒、り、と、以、て、軍、
 一、發、不、攻、投、や、と、列、り、た、擡、揮、を、本、中、奉、听、織、田、殿、の、馬、希、小、集、り、遠、城、向、く、火、急、



山路の
 楠の
 謀の
 受の
 城下の
 竹木の
 織田勢
 先んて
 焼たつら

徳川家康

十一



徳川家康

十二

小越ふて。計らふ者ありと言はせ。織田殿こそ小同心一玉に。後小隔て勤つる。秀吉
 落ひ進出さるり。速小諸軍を操発四方一時小攻さる。然も是は要崖のよれとあし
 きと自然知を重きと。要害のよれを以て防衛のよし。動らんと口より。要地
 小攻投さる。ひ操落さる。と重きと。小攻さる。好む勇戦さる。丹時同心ましく。先
 鋒ハ柴田依久間が二千。退事一面へむんごうより。森坂井の二千余騎。右のさる
 丹羽池田二千余騎。あて攻起る。諸本下ハ遊軍。小て大將の陣。希小勤つる。まて織
 田殿の旗本。少ハ若田林信々。梁田左小連。さる。勢四千諸隊の攻取。いふごと
 見物して。ぞもまを。然やど小柴田依久間。森坂井丹羽池田の六千余騎。之方一時
 小岡を。つら。右銃火箭を。赤穂射。萬息。ども。後を。攻起る。勢威さる。ら。烈火
 の。像く。怒潮。小勢。勢。つと。ま。く。然。ども。城。中。怯。ま。と。銃。葉。の。續。く。り。び。り。歩
 勢。射。發。拒。抗。る。小。進。も。あ。や。權。と。い。とも。大。勢。更。に。攻。起。り。起。令。天

遠城を。臨。み。ぞ。ん。び。小。面。目。小。軍。を。さ。さんと。喚。叫。て。責。ら。る。る。本。下。は。し。り。城。の。徳
 と。隙。も。せ。て。開。ひ。さ。る。が。備。多。く。右。も。小。集。り。心。死。と。あ。り。て。防。衛。も。た。ま。の。防。士。勢
 不。して。切。大。事。と。も。あ。り。ぬ。様。あり。然。は。左。方。の。要。崖。下。け。ま。は。し。を。憑。む。と。管。入。り
 先。波。前。より。攻。指。て。臨。し。と。重。き。と。小。柴。田。依。久。間。丹。羽。池。田。も。こ。こ。小。力。を。勤。む。と。い。と
 軍。と。て。一。千。余。人。集。地。小。攻。指。柴。田。依。久。間。丹。羽。池。田。も。こ。こ。小。力。を。勤。む。と。い。と
 指揮。小。い。ま。も。心。死。と。あ。り。而。も。權。り。を。勢。勢。さ。る。山。路。ハ。右。方。強。進。す。後。軍。と。勵。ま
 一。防。さ。る。が。進。軍。只。今。た。の。方。を。攻。起。る。事。火。急。あり。此。は。の。要。崖。堅。固。を。憑。む。と。あ。り
 く。い。し。と。思。ふ。と。も。進。軍。の。稠。く。見。ゆ。ら。り。拒。抗。の。人。數。を。増。さ。る。と。左。方。の。虎。只。く。り
 勢。ら。ま。と。本。下。秀。吉。眺。と。観。て。願。い。遠。响。を。重。重。と。續。け。繼。げ。と。呼。ぶ。ら。る。ら。ら
 馬。小。拍。ま。心。懸。小。進。ゆ。が。當。隊。の。若。士。一。千。余。人。を。銃。相。く。赤。穂。く。挑。發。る。小
 丹。羽。池。田。も。後。軍。急。が。ぬ。本。下。が。勢。攻。起。る。遠。城。の。臨。む。と。観。決。し。事。あら。ん。後



織田勢巧く

虎を攻く

山路彈正を

轉倒

うき

織田勢巧く

織田勢巧く

て指しと指揮烈しく呼ぶる。若小二隊の勇士勇気溢る。突發し。水火の中も揺る
 べは様ぞ我者らと權くやど小城の防衛も隙隙なきほど進み沖城を成強して
 寨樓むらむせ攻隊せり。あま遠城を後遠隔より奏臨しとんとんとあふ山落
 弾心づれぬ捕が教指し今此時の先急あり進兵を誰と誰とやと思ひ退
 ち法寨と小走登り進軍の方へ前へ急ぎ思枝あり責めを後めくふと人言
 小呼もあふ柴田も馬を騎出でて降来しとや。開城小やと叫り退き山落信盛
 使降糸せへららん小もも表聲を大將へ重傳せ玉とと。と叫る若小柴田
 佐久間夜番を走らせり遠由とを信長とれまも既受しと人好く攻門を
 宣すもと。と雪方の隙中へ指揮せらるるを木下更山所ぬふして疾く急指し上
 とと士を烈まし操起しとせぬ鬼とて後田殿を攻ふ止ぬ玉にハ赤く言らぬと
 かく軍士を纏めて攻むととぶふ退き動し

秀吉鐵山路信隆津楠謀計 高信長原陣

賜よく外米と熟すととども。あ石一川泥をうらぬととも小城をらし。然は遠道を國城
 あまも遠く見へらしが事速きとて軍を止む此响彈を寨樓より式傳りて言とや
 今更すを炮夫のあらん陽と陰戦のてまあらと事馬の家小生まし一方の道
 助命を救し玉をら。園神戸の五城をも初め降参さるも言ん渠們所將佐
 小走せとらんが勢北全く沖手小属。遠義所許作らる今宵の陣小調略を
 了。若沖許密あれ小終る。是能小置とて城を傾く斬て棄置と少揚小晒と言
 小と向ふ若小柴田佐久間鐵田殿の沖前へ出山路が只今宵の陣小調略を
 の大利と兼こま小過。とら沖賢意のくと伺ひらる。信長於小心決せと今臨を
 べき遠城を許さんむ。あらむととも園神戸以下の城を攻伐んあ自軍も換

せん諸將の異見を所奉と柴田佐久間丹羽本下池田坂井森若田佐々木等
 集め御田原會合せしむるに山路彈正守備全く折交るる降らんとし且又園と
 神戸の両家と將佐小寺とを裁たり評せしむるや或る諸將の異見あり
 かく言出さるると今も響柴田權六進出せし山路が重き一軍御言ひまじ
 る目之數心と解んごめ小室神戸の両家と初め罷せりて切小寺の意あらん然と
 是に違義と評す攻殺さんとおぞめと申の自多も若干換せり敵軍あま
 勇士軍を御せんことも本意あらむ將佐と申く患仕を當國征の又吉利ま
 り今又所奉國も動かしむる早く所降陣ありて事然るる降らん
 降る色を重きと本下倒るるを恐るし柴田大入の體下を利一應時
 是ども小長思意と申らる山路が重き條に全く備せし下。園神戸を
 の降來の懸量容易のふと降降し心得てぞ所や。是を所謂いふ中と是を推す

山路の神戸の諸下中々園の神戸の總領家ありいそ山路が細小隨ひ一戦
 もせむと所寄ると所旗下小屬一言をき彈正信盛拈當危急と道
 せん空巧小進軍を助死退をせん謀計ありと存儀實不降参とせん
 彈正と申る所寄小まわり吊時小書簡と調罷て園神戸之使と云
 小願と彈正が城ともせむと利通ひ不達せし釋は是儀と云ふ是れを此の
 城の落を遠らねば破るるを圖ふと云園神戸鹿伏鬼とも取らせと云
 せんことら又既守備通達て征伐の本意と存儀存儀と云ふと勸るに權六
 怒て是儀果らむ降るを救ふる將の仁の備降参と條と云ふ當國評多
 の城を倭必死と極めて軍城と云ふと云ふ小寺敵せん事最も難き軍あり
 山路が願ひ不降を園神戸が評調罷と續せしむる張論しは佐久間林も
 柴田小園と違義と云ふと備ふと重きと不織田敵も易く小屬柴田が初め小



秀吉柴田と
軍の進退を
争論
まろ圖

小住儀しは是せりて推鞠の謂も幼くは道理也八田城の捕次言國城の山路を
 か全く謀りし流言も君を歸せしをまのらせんと巧く朝と知らせりし所を諸の
 怒り秀吉は右山路を思ひ降参せりて偽と。今も此の濃の江津も山路を
 流言ありといふは調遣を杜ぐん小住は津身の免き事と頼も勧めまわら
 ざる後令の山路林を降参備して勢水の地津子小属の心を原東津領小
 さき切せる津橋といふもあらざる若本國小事起らば誠小諱がくわが
 こと事然すと云はせし秀吉一人は虚説ありと稟すと。小住は津橋小諱
 津小諱と小下関へ復頼小笑柴田殿の冷めは津小諱より思ふさよ是下
 弾正と小住の懇切あるは津橋降参を信せりしと降参せん公國も今
 りれと人質も出さるも城も逆無さを奉人津陣へ急ともせし遠等の
 作法は朝と
 多たを是等の作法ありしと實の降参と稟されしは信言は法へ朝と

改卓城中の津伸より國城を岩村より津進ありて稱ふまじをこの條の約束
 せしゆえ虚説ありといふは假若岐卓城小住を向の津出馬の義を止
 當國へ参りての津會戦を勧めしと。時時小大功を達らしんと始終
 為せおぼしより外別心なく更小不忠をばせしは下小宿意を構ふ
 下宿も無きあり。志しむら老臣連君とも護へ津原國あらん小住一隊
 士のものを田より命を乞ひは小住も及の津計ひ小隨ふと道理と
 不意中。此事の朝小勝家も津を逆らふ道もなきは欺くをばし言
 灘川進出本下人の朝小勝家も津を逆らふ道もなきは欺くをばし言
 津出馬を強て勧めまわらせしは今更におもひは小住も
 人を兼後悔つるは。山路神谷が事小住より小住よりく虚實を
 使者の言はつるはと稟すと。是を信津原國ありしと想軍中編

豊後言二編卷之五

二十一

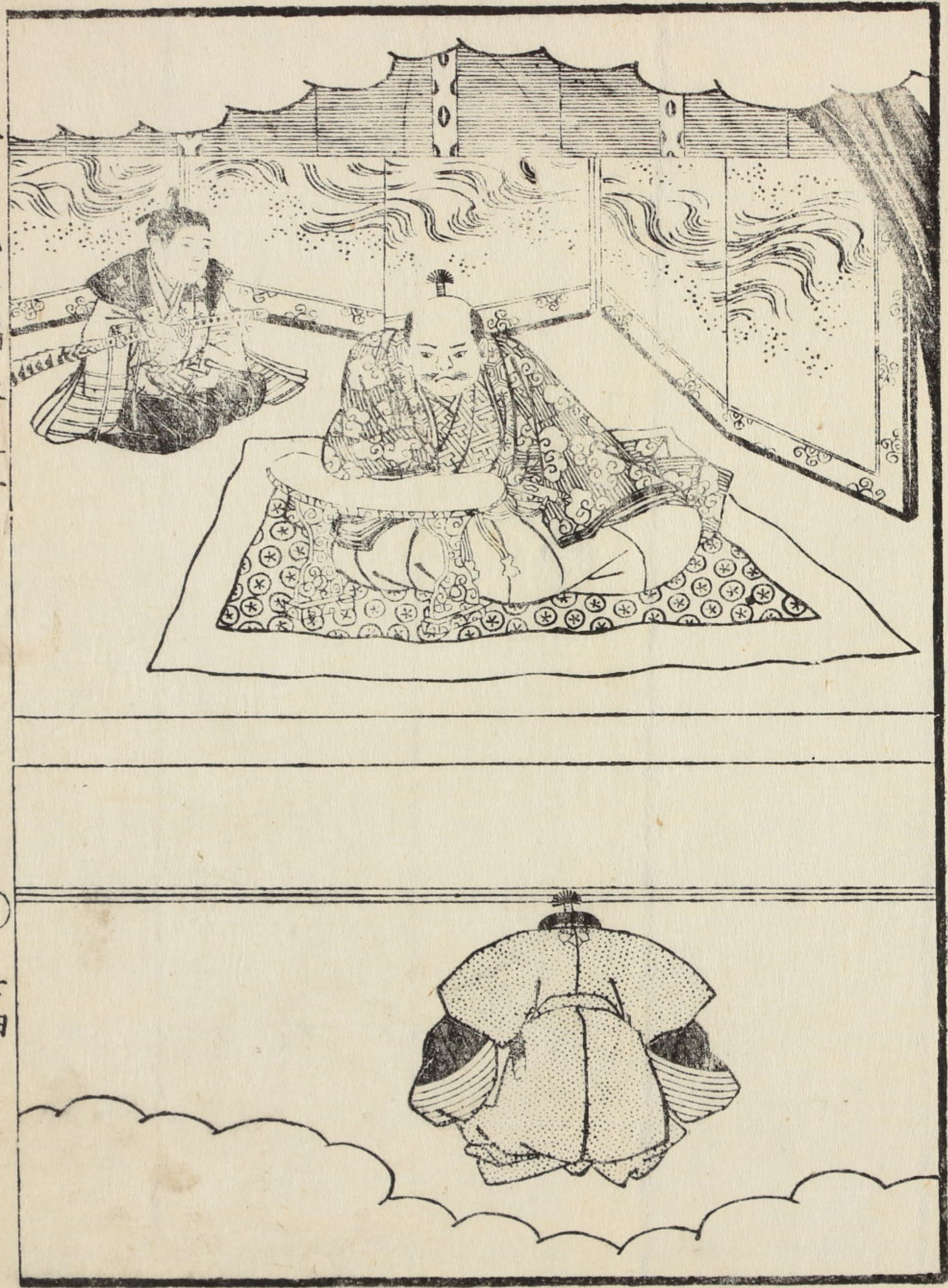
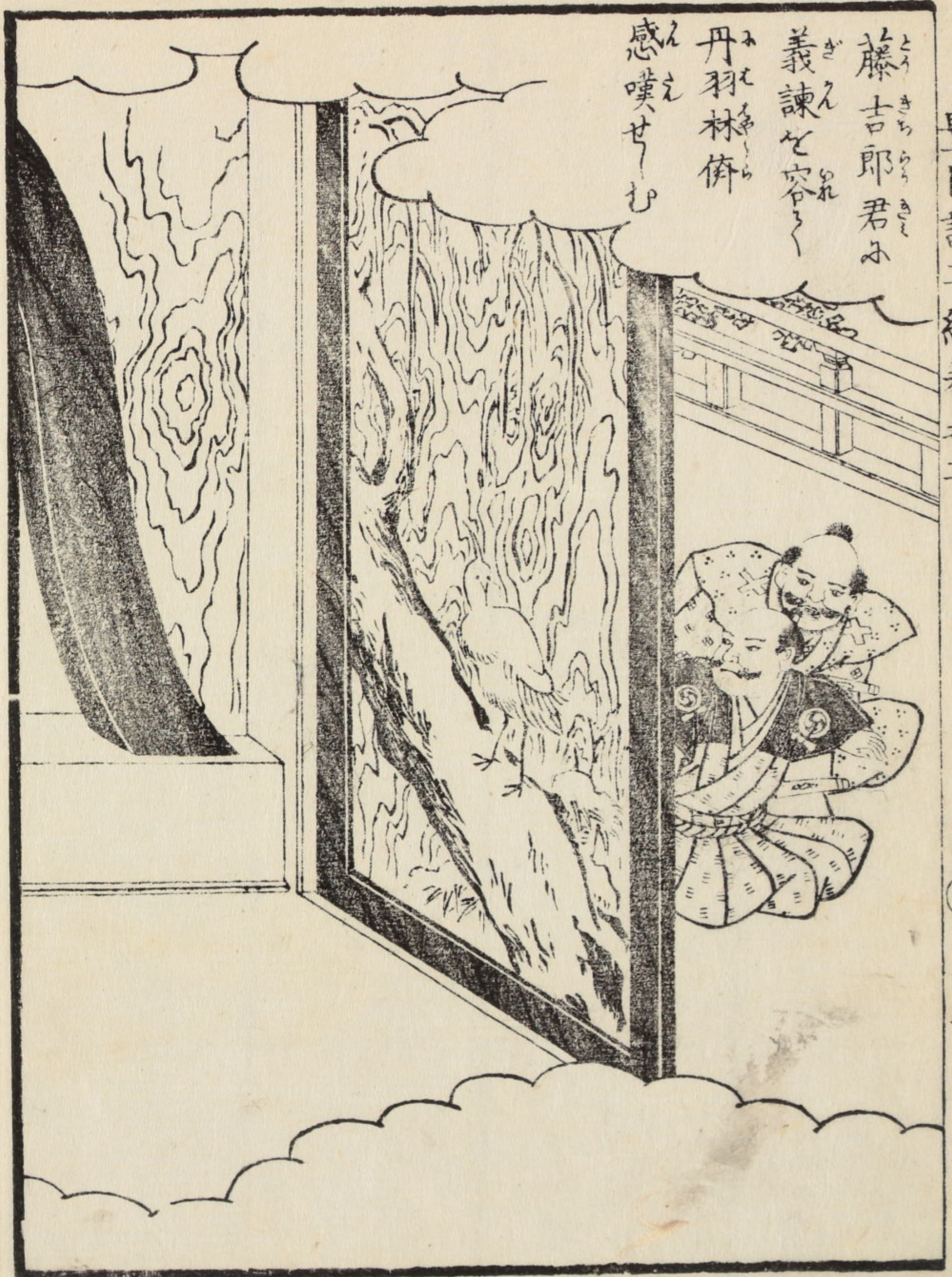
出さる坂井沈田も咄込。改草(河)降陣ましくる

丹羽林保感藤吉身大量属結縁江列

漢者の國の来をを觀て大漢あるの相と鐵想更の儀の集散小播く樹の好悪を
量る。勢が木下を圍城するの不行と視て降参の真偽を識とる。静とて
諸士小怪也。倍小灌列(邊)込。柴田佐久間が過矣とて歎息を針致の之也
こく。信長とつらまじ。信濃塚より伊奈の郡もよび甲府窪隈を情。地小窺ひ
せしが。系より。産流をわして。然も信玄入道。六月。尖小甲府を出馬。八月。以
まを。信別ある。川中。湯小對陣せし。た。ふ。是。と。所。徹。竊小改草(河)出せし
く。信長。又。小感。ト。玉。ひ。木。下。が。遠。意。と。學。兵。せ。ら。ま。る。石。西。方。之。人。氣。が。風。吹。の
根。と。此。さ。ま。る。に。是。と。ら。更。小。お。れ。事。を。ま。る。神。文。と。擊。て。統。統。と。散。と。是。會
楠。正。具。の。結。中。て。秋。の。流。を。さ。せ。し。り。信。長。身。後。に。甲。列。の。沙。汰。の。處。説。多。と。こ。人

虎の神文起鏡小安達。玉。心。平。ま。る。ひ。一。と。秀。吉。密。小。言。小。は。ま。る。と。兵。分
と。や。之。人。衆。も。物。の。意。趣。を。推。ら。ん。致。さ。ら。遠。等。の。事。を。種。と。心。多。の。出。り。を
と。ら。ん。是。も。心。意。量。り。さ。し。渠。係。小。安。心。と。せん。と。め。お。こ。人。一。回。あ。せ。る。賜。賜
の。催。ら。り。や。と。切。小。勸。め。奉。り。し。く。鐵。田。殿。も。然。と。と。村。井。長。正。も。破。江。内。吉。と
使者と好し。三人衆の門へち力一具小抱一重とまを賜ふ。いよく。疎。意。の。は。越。江。重。不
贈。玉。と。よ。う。こ。人。氣。護。を。洋。受。み。し。吊。時。小。改。草。へ。同。ご。と。君。信。安。松。の。喜。悅。を。漢
り。信。と。西。へ。瀧。川。方。より。使者とめて。ま。る。や。山。路。神。戸。が。降。参。を。合。り。り。て。備。中。と
君。と。河。津。國。中。を。ま。ら。ん。謀。と。知。ま。ら。ん。料。も。得。と。此。と。か。山。路。が。辭。へ。使者と
つ。ら。し。降。参。の。事。を。信。長。せ。し。小。部。て。使者と。ぬ。り。笑。ひ。信。長。再。び。此。地。小。来。る。今。川
義。光。の。風。小。殺。を。金。十。日。と。出。陣。さ。と。ま。り。と。か。割。り。と。首。と。治。伸。せ。し。信。長。是。を
所。も。お。ま。ら。ん。躍。騰。り。て。憤。怒。を。し。ま。る。義。光。ら。ん。吊。時。小。推。進。山。路。と。ま。り。神。戸。の。奴

藤吉郎君とよきちろうきみ
義諫ぎかんを容ゆるみ
丹羽林侷にわはやし
感嘆かんとんせむ



曹氏... 卷之五

五

